

## 2025年度 第3回理事会 議事録

日 時：2025年7月11日（金）15:00～16:30

場 所：ウィンクあいち（名古屋）10階 1007会議室

出席者：19名（理事17名、監事2名、来賓0名、事務局1名=専務理事）

（会長）菊地義典 （副会長）加納孝樹、藤島忠康

（常務理事）植田昌克、辻 勇、田口哲也、松原潤治、大久保利彦

（理事）菊地正人、高橋丈助、松波崇宣、小原敏治、達俊彦、津井克巳、

横山剛彦、前川直人、

（監事）宮西啓明、鬼頭泰夫

（来賓）無

（事務局・専務理事）宇都木崇

（欠席）田中文彦、井田斉昭、大石敬一郎、岩崎真和、飯田勝、萩原寛佳、寶角雅之

---

### 挨拶（菊地会長）

名古屋開催にあたって多くの理事にお集り頂きありがとうございます。また暑い中、皆様の顔を直接見られるのを嬉しく思っております。理事会も専務理事のもと事務局が非常に一生懸命やってくれております。あと後ほどご報告があるのですが、7月1日に元グリーンソニアシアにいた朝倉さんがパートとして事務局にジョインしていただき、事務局の英語対応能力もアップしていると思いますし、今まで培った経験を生かして歯車工業会を更に盛り上げてくれるものと思います。また是非、皆さんの温かい事務局へのご指導を宜しくお願い致します。

また今回、実はこの後の懇親会に27名の方にご参加いただきます。今までは理事会の後には理事の懇親会でしたが、本年度から名古屋あるいは大阪といったところで理事会を開催した時は、その地域の会員の皆様にもお声がけをして、（日頃）なかなか直接お話を聞くことはできないものですから、理事会開催の機会を活かしながら広く会員の声を聞こうという趣旨で企画をしました。振り返ってみると新年会と総会ぐらいしか一同が会する機会が有りませんので、まずは手始めに名古屋・大阪の理事会から始めつつ、より広く皆様の声に耳を傾け、メンバーファーストで会を運営したいと考えております。この後の懇親会を非常に楽しみにしておりますが、理事の皆様も新しい会員の皆さんや、普段なかなかお会い出来ない会員の皆さんと色々情報交換していただいて、またそこでのお声を我々会長・副会長にあげていただければと思いますので、ご協力お願いします。

今日も審議事項・協議事項色々ありますが是非ともご協力頂きたく宜しくお願い致します。以上でございます。

---

### 議 事

定款第37条に則り理事会決議を行った。同様に定款第39条に基づき、菊地会長と宮西監事並びに鬼頭監事を議事録署名人に選任した。

## 議事次第

### 1. 審議・承認事項

- 1) 2025 年度各委員会の事業計画策定 (資料 No. 1 & 2)
- 2) ホームページ英語化における JGMA News 公開化の件
- 3) 新規入会承認の件: 旭ダイヤモンド㈱ (資料 No. 3)  
    ㈱そうぎょう (資料 No. 4)

### 2. 協議事項:

- 1) 2026 年度総会開催地について

### 3. 報告事項

- 1) 経済産業省ご担当異動の件
- 2) Euro Gear Tour 2025 について
- 3) 景況報告
- 4) イベント、地方開催に関する費用の件
- 5) 事務局人事: 朝倉氏パートタイム採用の件
- 6) その他

## 議 題 / 決定・検討事項

### 1. 審議・承認事項

#### 1) 2025 年度各委員会の事業計画策定 (資料 No. 1 & 2)

・各委員長より各委員会の活動方向 (新年度~理事会開催日 7 月 11 日まで) の報告と今年度今後の予定を説明。

・広報委員会、松原委員長: ホームページを随時アップデート、JGMA News を 7 月注に発刊予定。また、日刊工業新聞等に広告掲載。

・海外調査・対応委員会、植田委員長: TAMI (台湾工業会) の 80 周年祝辞を発信。11 月 23 日より 30 日に Euro Gear Tour 2025 と銘打って歯車工作機械メーカー 5 社 (KAPP-NILES、KLINGELNBERG、GLEASON-PFAUTER、LIEBHERR、REISHAUER) を訪問。非常に好調で定員 20 名のところ既に 18 名応募。

・経営研修会、藤島委員長: 6 月 11 日、三和精機製造本部 (滋賀) を訪問。今後は秋に第 55 回、静岡のユニバンスを予定、来年第 56 回岡本工機か? 日程は若手研修会等とも調整要。

・技術研修会、田口委員長: 8 月 22 日久留米高専訪問予定。ギヤカレッジでもお世話になっている。現在 14 名応募済。

・若手経営者研修会、大久保委員長: 10 月上旬、3 月に 2 回開催予定。従来は限定的な参加であったが、今後は公募で参加者を募る予定。

・ギヤカレッジ運営委員会、田中委員長に代わり加納副委員長: 6 月 6 日、開校式。マスターコースは募集 30 名のところ応募 40 名、プロフェッショナルコースは応募が 13 名プラスマスターコースより 3 名で 16 名。10 月には運営委員会、3 月 13 日に終了式予定。また、修了生にマークを提供している。

・ギヤカレッジフォローアップ委員会、加納委員長: 5 月 18 日に第一回の委員会開催。9 月 5 日名古屋において「未来の歯車」のテーマで開催。山形大学の多田隈教授による球状歯車の講義。

・標準化委員会、辻委員長: 6 月 24 日に第一回標準化委員会開催。JKA の補助金により複数名を ISO 国際会議へ派遣したことの報告会。川重船舶の村井マネージャーが正式に委員

に就任。9月開催のWG6の国際会議（ミュンヘン）に村井マネージャー、中島委員、新規採用の朝倉（事務局）を派遣予定。来年度から標準化委員会は工業会事務局の直轄として運営していきたい。

\*上記、各委員会の事業計画は賛成多数で承認されました。

## 2) ホームページ英語化における JGMA News 公開化の件

現在、年間春夏の2回発刊されている JGMA News は会員と各工業団体に無料配布され、また Web 上でも会員ページから閲覧できる。一方、菊地会長の方針として海外も含めてより広く情報を発信し工業会のプレゼンスを高めるためにホームページの英文化を進めることになっている。現状の会員に限られた JGMA News の Web 上の閲覧を一般にも公開したく、理事の皆様の審議・承認をお願いした。

\*上記提案は賛成多数で承認されました。

## 3) 新規入会承認の件：新規入会承認の件：

・旭ダイヤモンド(株)：賛助会員入会申込書（資料 No. 3）

紹介者：(株)共和歯車製作所、萩原社長

\*上記賛助会員入会申込書は賛成多数で承認されました。

・(株)そうぎょう：賛助会員入会申込書（資料 No. 4）

紹介者：竹田商事(株)（&TPR 大阪精密）竹田社長（技術顧問、工業会標準化委員会幹事）

\*上記賛助会員入会申込書は賛成多数で承認されました。

## 2. 協議事項：

### 1) 2026 年度総会開催地について：

・会長の考えとして 2025 年度 5 月の総会は九州で行いたい。理由 1) フォローアップ委員会でも九州でイベントやって欲しいとの声が上がっている。2) 本年 4 月に姫路で行われた機械学会に工業会からブース展示参加をし、学会を取り仕切る黒河先生との繋がりも深まっている。3) ギヤカレッジ創始者の一人である有浦先生も九州で機械学会分科会の復活を願っている。4) 久留米高専にはギヤカレッジで長年お世話になっており、同校の石丸先生にもお声かけしたい。そこで早い時点で計画を立て、5 月に総会を実施するならばどのようなことが出来るか皆さまとお話させて頂ければありがたい。

・博多？

・現在、九州の会員は 2 社のみ。アサデンギヤー、三井三池、等かつての会員様にもお声かけしたい。

・北海道で実施した製鉄会社の見学が印象深い。日頃見たことないものを見たい。

・TOYOTA 工場？安川？

・5 月は総会時期なのでホテルは取りづらい。

## 3. 報告事項

1) 経済産業省ご担当異動の件：令和 7 年 7 月 1 日付で今までご担当頂いた國府田課長補佐、吉崎様異動。新ご担当社：野瀬課長補佐、岩本係長。

2) Euro Gear Tour 2025 について：植田委員長からお話したとおり応募者数 18 名。定員 20 で残り僅か。未だ応募していない方々はお早めに。

3) 景況報告

- ・A社：大型歯車専門メーカー、特に製鉄所向け。先が見えない状況が続いている関係上、お客様もなかなか発注出来ない状況が続いている。ただ世の中が景気の良いと言われた時期も低空飛行で、あまり先が見通せない現状でも低空飛行なので変化は少ない。幸い工場内の機械は止まらずに動いている。一方、大型の歯車を発注されるセクションは設備を管理する方が多いのだが、図面に書けば大きい・小さい関係なく、大きい歯車のものづくりの難しさが分から無いお客様が増えてきて説明するのが難しい。サイズが大きくなると価格も高くなるのだが、「なんでこんなに高くなるんだ？」と価格の説明にも時間が掛かっている。トランプの関税によって影響を受けていませんか？とよく聞かれるが、基本的に国内の商売がメインで輸出していないので、もし客先が輸出関係でこれから苦しくなれば何らかの影響があるかもしれないが、今現在はあまり影響はない。
- ・B社：売り上げのうち8割が自動車関係。更にその8割がダイハツ関係。ダイハツ次第。9月決算だが昨年の決算は厳しかった。認証問題で1月から3月は多くの車種の生産が止まった。通常月30億ぐらいないと困るのだが、それが10億切る月もあった。そうゆう期間が3か月から4か月続いたので去年の数字は惨憺たるものだった。去年の10月からもうすぐ決算になるのだが、未だその影響がでており、一部の車種が断続的につまる。その影響が出ている。更に中央発動の火災がありラインが止まった。更に、今月レアメタルの関係でまた止まっている。これがいつまで続くか分からない。9月にもまた1車種2週間止まる。だから後期も厳しい。ただ、前期と比べると売上だけは1割弱は増えている。ただ、中身を見てみると材料費の高騰があり、見かけだけのアップか。仕事量はそんなに増えておらず、厳しい決算になる。ダイハツさんはアメリカの影響はない。また建機・産機は堅調。但しダイハツは開発が2年止まっていたので売り上げが正規の時期の8割9割。その中で我々も身の丈をどの辺に考えてカバーしていくか考えなくてはいけない。直近で言えば熱中症の規制が厳しくなった。1月から1時間ごとに5分給水タイムを有給で導入。それでも毎日一人か二人で熱中症らしき体調不良者がでる。設備も古いし更新も考えていかなくてはいけない。

4) イベント、地方開催に関する費用の件：東京圏だけでなく、広く会員の意見を聞きたいということで、今回は名古屋、9月は大阪で理事会を開く。当然のことながら費用が掛かることはご理解頂きながら実施していきたいと思っている。決算にも現れるかもしれませんが、ご了承いただきたい。また、来年度、各委員長が計画を立てる時にはその費用も年頭に入れ予算を考えていただきたい。

5) 事務局人事：朝倉氏パートタイム採用の件、7月1日から事務局職員となった。標準化委員会、ギヤカレッジフォローアップ委員会の担当として協力していただくことになる。その他、ホームページ英文化もお手伝い頂くつもり。

6) その他：

- ・リモート会議ソフト。WEBEXの他、ZOOMのアカウントを増やして対応。⇒ズームで問題あるかどうか理事達に確認。
- ・下請け法の改定によって、手形の納期に要注意！（小原社長より）最長60日となったことにより各位要確認。（発行する側も受ける側も）⇒回覧を再確認する

以上を持ちまして 2025 年度第 3 回理事会を弊会とします。

資 料

- 【資料 No. 1】 2025 年度日本歯車工業会組織図
- 【資料 No. 2】 2025 年度活動報告並びに今後の予定
- 【資料 No. 3】 賛助会員入会申込書、旭ダイヤモンド工業(株)様
- 【資料 No. 4】 賛助会員入会申込書、(株)そうぎょう様

以上

2025 年 7 月 11 日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 菊地 義典



一般社団法人 日本歯車工業会

監事 宮西 啓明



一般社団法人 日本歯車工業会

監事 鬼頭 泰夫

